

電気通信大学 平成17年度シラバス

授業科目名	上級プログラミング		
英文授業科目名	Advanced Programming		
開講年度	2005年度	開講年次	2年次
開講学期	4学期	開講コース・課程	昼間コース
授業の方法		単位数	2
科目区分	専門科目-学科専門科目-選択科目		
開講学科・専攻	知能機械工学科		
担当教官名	結城 宏信、稲見 昌彦		
居室	東4-405(結城)、東4-603(稲見)		

公開E-Mail	授業関連Webページ
yuki@mce.uec.ac.jp inami@mce.uec.ac.jp	<a href="http://www.ds.mce.uec.ac.jp/~yuki/prog/">http://www.ds.mce.uec.ac.jp/~yuki/prog/</a>

<b>【主題および達成目標】</b>
「基礎プログラミングおよび演習」では十分に扱うことができなかった構造体，ポインタ，モジュールプログラミングなどC言語のより高度な機能について学び，機械工学において直面する課題を解決するために有用なプログラムを作成する能力を身に付けることを目標とします。

<b>【前もって履修しておくべき科目】</b>
基礎プログラミングおよび演習

<b>【前もって履修しておくことが望ましい科目】</b>
なし

<b>【教科書等】</b>
使用しません

<b>【授業内容とその進め方】</b>
<p>授業は総合情報処理センターの演習教室で行います。毎回，与えられた課題(主にプログラムの作成)を期限までにメールで提出してもらい，授業時間の前半で提出された課題に対する解説と，次の課題に必要な知識の説明をプラズマディスプレイを使って行います。後半は各自に新しい課題に取り組んでもらいます。取り扱う内容は以下のとおりです。</p> <p>数学関数ライブラリ ビット演算 構造体</p>

## 電気通信大学 平成17年度シラバス

ポインタ  
ファイル操作  
文字列操作  
コマンドライン引数  
モジュールプログラミング  
その他

### 【成績評価方法及び評価基準(最低達成基準を含む)】

#### (a) 評価方法：

授業中に行う課題の内容(授業態度を含む)を重視し、これに中間および期末試験(課題提出に代えることもある)の結果を加味して次のように成績を評価します。

$$\text{成績評価} = (\text{授業中の課題の評価点} \times 70\%) + (\text{中間試験の評価点} \times 15\%) + (\text{期末試験の評価点} \times 15\%)$$

#### (b) 評価基準：

他人が書いたC言語のソースコードの内容を理解でき、UNIX環境下において独力でC言語のプログラムをある程度自由に作成できることを合格の最低基準とします。授業に2/3以上出席していない者、課題等で他人のソースを丸写しした者、写させた者はすべて成績評価の対象としないので注意してください。

### 【オフィスアワー：授業相談】

#### 結城：

適宜応じます。出張や会議などの予定はWebページに掲載してありますが(学外からのアクセスにはパスワードが必要です)、確実に面会したい場合はあらかじめメールなどで日時を相談してください。

#### 稲見：

適宜相談に応じますが、E-mailなどで事前にアポイントを取ってください。

### 【学生へのメッセージ】

#### 結城：

プログラミング能力は実際に自分の手でコーディングをしていないと低下していきます。「基礎プログラミングおよび演習」で身に付けた力を無駄にしないためには、この授業が一つの解決策になるかもしれません。

#### 稲見：

現代においてプログラミングはエンジニアとしての「第二言語」です。この機会にしっかりと学んでおいて下さい。

### 【その他】

授業には総合情報処理センターの情報処理教育システムのアカウントを使用するので、パスワードの更新を忘れないようにしてください。